

# もの造りに強い現地企業とのコラボ、 その成功度はいかに。

「フランス No.1 メーカーとの連携でシナジー効果を発揮。  
もの造り文化に共通する環境で、新しいアイデアも生まれてきています。」

NTN株式会社 代表取締役会長 鈴木 泰信



1918年創業。資本金423億円。産業機械向けや自動車向けの各種ベアリング、等速ジョイント、精密機器商品などを製造販売する世界的な精密機器メーカー。自動車用の需要の多いフランスを中心に積極的な世界シェアの拡大を推進。1998年ル・マンにおける大規模な製造拠点の設立、2007年フランス第1位のベアリングメーカー SNR Roulementsに資本参加する。2007年対仏投資賞受賞。

## フランス進出の経緯を教えてください。

フランス進出の経緯ですが、1964年にベアリングの販売会社を設立。1998年にNTNとルノーとの合弁でル・マンに等速ジョイントの製造販売会社を設立。出資比率はNTN85%、ルノー15%です。また2007年アヌシーにおいてルノーの子会社であるSNRに資本参加を行い、フランス国内外の工場や研究開発拠点を活用。今後はヨーロッパにおける当社ビジネスの中心がフランスになっていきます。

フランスにはアヌシーを中心にSNRの5つの工場と研究開

### NTN株式会社のフランスにおける実績(1)

- 社名：NTN France S.A.
- 設立：1973年
- 従業員：64名
- 事業内容：ベアリングの輸入・販売
- 社名：NTN TRANSMISSIONS EUROPE
- 設立：1998年
- 従業員：760名
- 事業内容：等速ジョイント製造

発拠点があり、ル・マンでは等速ジョイントの開発と製造を主体としています。フランス進出のメリットは、自動車メーカーの大きな需要があること。また交通や社会的インフラが発達しており、質の高い労働力の確保が容易であることです。幸い現地でも高く評価いただき、2007年6月にはフランソワ・フィヨン首相にル・マン工場をご訪問いただきました。

さらに社会貢献の一環として、日本人の松井大輔選手が所属するル・マンのサッカーチームのスポンサーをつとめ、地元との交流をはかっています。

## SNR社とのパートナーシップの 状況と今後の関係は？

SNR本社はアルプスの麓の都市アヌシーにあり、湖も近く素晴らしいリゾート地にあります。スイスからも約1時間の立地で、このあたりは、以前は機械時計の設備を製造していました。SNRは会社設立後90年になりますが、軸受の製造では120年以上にもなります。アヌシーはものづくりという点では大阪の東大阪地区と似た環境にあり、企業間の異業種交流ができています。職人たちのノウハウや特許を活かしてきたところでもあり、等速ジョイントの合弁会社として培った協力関係をベアリング事業にも拡大することを目指しています。

NTNでは、すでにフランスに3億ユーロの投資をしています。現在当社の現地法人の従業員は750人程度ですが、SNR参入により約4000人になる予定です。フランスからヨーロッパ、東ヨーロッパ、ロシアなどに向けて自動車用部品の展開を考えています。

### NTN株式会社のフランスにおける実績(2)

- 社名：SNR Roulements S.A.
- 創業：1916年(2007年NTN株式取得)
- 従業員：約4,100名(全SNRグループ)
- 事業内容：ベアリングの研究開発・製造・販売

今後は意識の高まっている環境保護や、雇用の安定維持にも貢献していきたいですね。

フランスへのビジネス投資は、いま絶好のタイミングです。  
お役に立つ最新情報をホームページで見つけてください。

[www.investinfrance.org/Japan/](http://www.investinfrance.org/Japan/)

在日フランス大使館 対仏投資庁 日本事務所  
〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39 MTビル 12F  
Tel: 03-5733-8200 Fax: 03-5733-8201